

2024 年度事業報告

1. 理事会・総会

日 時	2024 年 3 月 8 日(土) 午後 1 時(理事会) 午後 2 時(総会)
場 所	大阪キャッスルホテル
議 事	(1) 2023 年度事業報告 (2) 2023 年度決算報告 (3) 2023 年度会計監査報告 (4) 2024 年度事業計画(案) (5) 2024 年度予算(案) (6) 新役員の選出について

2. 第Ⅷ期「市民自治講座」の開講

口 趣 旨

経済的価値観への一元化、人口減少と少子高齢化、都市および中山間地域の衰退、ポピュリズムの勃興、ナショナルなものへの偏愛や非寛容の精神の跋扈など、危機は今そこに遍在している。

私たちはこれらの動きを、自治と民主主義の危機ととらえ、そのような時代潮流に抗して市民の自立と自律、自主と自治、共感と共生（連帯）を回復していく必要があると考える。このためには、市民が小さな空間を足がかりに、自ら文化を育み、そこからコミュニティや都市を再生していくことを通して、深刻化する社会の問題に立ち向かっていくほかかない。その基礎には市民みずからが自治の哲学をつくりあげていくことが必要である。

「市民自治講座」は、これまでに蓄積されてきた人類の知恵から学ぶとともに、熟議を通して、新しい市民自治の姿を想い浮かべ、地域にねざした市民社会のつくり方を学び、市民の手で明日の自治をともに築いていくための基礎とすることをめざして開講する。

なお、今回は同一の講師による講演ではなく、中間支援団体、「公正」の哲学、公務員の多様な働き方など多面的な観点から「参加と包摂の共生社会づくり」について考えた。

- ・ 主 催 「市民自治講座」実行委員会
(特定非営利活動法人NPO政策研究所・大阪市政調査会で構成)
- ・ 講 座 連続3～4回で構成する講座を年1回開催予定。
- ・ 会 場 原則として大阪市内（ドーンセンターなど）
- ・ 参 加 どなたでも。定員30人程度。連続参加を原則（スポット参加も可能）。

□第Ⅷ期「市民自治講座」

・共通テーマ「参加と包摂の共生社会づくり」

第1回講座

「活動の現場から学ぶ 市民活動の役割と可能性」

日時 11月29日（土）14時～16時

会場 ドーンセンター 国民会館小ホール

講師 森 由香（NPO 法人とよなか ESD ネットワーク理事長）

上村有里（NPO 法人とよなか ESD ネットワーク事務局長）

第2回講座

「多様な共生の地域社会をつくるための〈公正〉とは？」

日時 12月7日（日）14時～16時00分

会場 ドーンセンター セミナー室1

講師 朱喜哲（大阪大学社会技術共創研究センター招へい准教授）

第3回講座

「私たち市民が今取り組むべきことから～公務員の副業・兼業問題から考える～」

日時 2月1日（土）14時～16時00分

会場 ドーンセンター特別会議室

講師 杉岡秀則（福知山大学地域経営学部准教授・自治体学会企画部長）

3. 大阪市政を考える研究会の活動

□趣 旨

少子・高齢化、貧困、孤立・孤独、巨大な災害リスク、希薄化するコミュニティなど大阪市は多くの深刻な都市問題に直面し、その一方で経済活性化、教育振興、文化振興、多文化共生などの多様な課題も抱えている。しかし、大阪市は政令指定都市で唯一総合計画（マスタープラン）を策定しておらず、労働組合との政策協議もなされないなかで、大阪市はどのような状況にあり、こういった課題を解決すべきなのか、こういった方向にむかうべきであるのか、ということを職員自身が考える機会や場が失われている。

このような認識のもとで、下記のとおり常設の研究会を設置して市労連各単組の参加のもと大阪市政の課題・方向性について議論と情報交換を行った。

大阪市政を考える研究会メンバー（2025年10月1日現在）

氏 名	単 組
横田友彦	市職

中野 誠	市従
三谷和義	市教組
坂本恭男	水労
菅岡良博	学職組
藤本佐緒利	学給労
川村行論	公立大
阿部昌樹	市政調査会
別当良博	市政調査会
福田 弘	市政調査会（事務局）
西部 均	市政調査会（事務局）

□経 過

第5回研究会

日時 1月5日（木）18時30分～

- 内容 ・研究会メンバーからの報告
- ・大阪市政の当面の動きについて（西部）
 - ・報告「総合計画の意義」

報告者 永田兼一（元・大阪州市長室総合計画課長）

第6回研究会

日時 3月27日（木）18時30分～

- 内容 ・大阪市政の当面の動きについて（西部）
- ・データからみる大阪市の現状について（福田）
 - ・報告「府市一体化の経緯・現状および一体化のもたらす諸問題を考える」

報告者 報告者：別当良博（大阪市政調査会前事務局長）

第7回研究会

日時 5月29日（木）18時30分～

- 内容 ・大阪市政の当面の動きについて（西部）
- ・報告「2025年度大阪市当初予算について」

報告者 福田弘（大阪市政調査会）

第8回研究会

日時 8月7日（木）18時30分～

- 内容 ・研究会メンバーからの報告
- ・大阪市政の当面の動きについて（西部）

- ・報告「2025年参議院選挙結果について」

報告者 福田弘（大阪市政調査会）

第9回研究会

日時 10月9日（木）18時30分～

内容 ・研究会メンバーからの報告

- ・大阪市政の当面の動きについて（西部）

- ・報告「水道管老朽化問題～大阪府下はどうか、その対策は？」

報告者 坂本恭男（大阪市水道労働組合）

第10回研究会

日時 11月27日（木）18時30分～

内容 ・研究会メンバーからの報告

- ・大阪市政の当面の動きについて（西部）

- ・報告「副首都構想について」

報告者 福田弘（大阪市政調査会）

4. 会誌『市政研究』の定期発行

会誌『市政研究』については、第226号（2025年冬季）では**特集●コミュニティから防災・復興を考える**を発行。近い将来に南海トラフ巨大地震や上町断層地震などの発生が予想されるなか、大阪市は高層ビル・地下街・木造密集市街地・帰宅困難者などのリスクを抱えている。その一方で地域コミュニティが希薄化しており、まちとして防災に対するレジリエンスも弱まっている。本特集ではコミュニティから防災・復興について考えた。

第227号（2025年春季）では**特集●ネット社会で民主主義は機能するのか**を発行。兵庫県知事選挙でSNSが活用され、きわめて異様な状況のなかで選挙戦が行われた。東京都知事選挙、アメリカ大統領選挙などでも世論・投票行動がネット等によって大きな影響を受けたといわれている。また、維新政治の登場からも言われていることだが、虚偽情報の拡散、意見の先鋭化、分断、エコーチェンバーなど、民主主義を脅かす危険性が指摘されている。本特集では、このような状況のもとで民主主義は機能し得るのか、またこのような状況とどう向き合うべきなのか考えた。

第228号（2025年秋季）では**特集●大阪行政と専門知の功罪——大阪都市協会一〇〇年**を発行。1925年に大阪市により都市問題の調査研究や市政の発信等を目的として大阪都市協会が設立されてから100年。戦前の都市問題の専門的な調査研究機関としての性格が戦後文化振興機関へと変容していく経過をたどり、2007年に廃止されるまでの大阪都市協会の活動を協会や行政に蓄積された「専門知」をキーワードに振り返った。さらに専門知の蓄積された調査研究機関のあり方についても考えた。

□第 226 号 (2025 年冬季)

特集●コミュニティから防災・復興を考える

災害の時代に向き合う新たなコミュニティ防災	室崎益輝
地域防災のバージョンアップを進めよう	相川康子
コミュニティ防災における防災人材育成の取り組み	生田英輔
「ぼうさい朝市」の取り組みから防災コミュニティを考える	藤村望洋

図書紹介

公益財団法人 大阪社会運動協会編 (公益財団法人 大阪社会運動協会) 『大阪社会労働運動史 第一〇巻』	伍賀惜子
連載 なにわ路上観察紀行 和歌山県九度山町界限 第 79 回 戦国の虚実の歴史が現在に生き続ける	前田和男
おおさかミュージアム雑感 57 三島のカミガミ・続続 神崎川水系を訪ねて・その 4	加藤英一

第Ⅷ期市民自治講座 「参加・協働」によってまちは変わったか (第一回) 市民参加・協働を問いなおす ——理論的・原理的に考察する——	嶋田暁文
--	------

□第 227 号 (2025 年春季)

特集●ネット社会で民主主義は機能するのか

SNS 選挙と民主主義 ——「分断の政治」に抗して「包摂の政治」へ——	富田宏治
ポピュリズムの危険な宣伝、YouTube 大量投稿 ——マスコミ、政党、選挙管理機関は対抗策を——	村上 弘
偽情報・誤情報と距離を取るために 「斎藤を逆転させた「反マスコミ」という奔流 兵庫県知事を振り返って—選挙運動の現場から	木下 功 松本 創 湯川カナ

図書紹介

岸政彦・川野英二編 (岩波書店) 岩波講座社会学 第二巻『都市・地域』	谷合佳代子
連載 なにわ路上観察紀行 滋賀県東近江市八日市界限 第 80 回 足元に埋もれる“宝の山”を再発掘!	前田和男
おおさかミュージアム雑感 58 アヘンの里、三島 神崎川水系を訪ねて・その 5	加藤英一

- 第八期市民自治講座 「参加・協働」によってまちは変わったか (第二回)
自治体内のコミュニティ政策の変容 吉川貴代
——盛り上がらない事情の一考察——
中山間地域からあらためて「協働」のまちづくりを問う 戸田幸典
——たんえんのミッションと中間支援の実際から——

□第 228 号 (2025 年秋季)

特集●大阪行政と専門知の功罪——大阪都市協会一〇〇年

- 大阪都市協会が遺したもの 阿部昌樹
戦後における大阪都市協会の変容と終焉 『市政研究』編集部
大正・昭和初期に活躍した
大阪市「都市専門官僚」たちの素顔 (上) 西部 均

図書紹介

- 壺井栄著・秦剛編 (琥珀書房)
『緋の着物 壺井栄戦争末期短編集』 千本沢子
連載 なにわ路上観察紀行 滋賀県東近江市五個荘界隈 第 81 回
危うし、「三方よし」の近江商人の里 前田和男
おおさかミュージアム雑感 59
水害・廃川・ダム 神崎川水系を訪ねて・その 6 加藤英一

「夢洲万博」を検証する 山田 明
万博の海外パビリオンで起こった異常事態 幸田 泉
——国家プロジェクトで工事代金の踏み倒し続出——

- 第八期市民自治講座 「参画・協働」によってまちは変わったか (第三回)
真の協働に向けて～次の一手を考える (鼎談)

嶋田暁文・中川幾郎・相川康子